

報道関係者 各位

令和5年3月16日

【照会先】

医政局医事課試験免許室

試験専門官 小澤 諒 (内線 2578)

国家試験係長 安達 亘 (内線 2282)

(代表電話) 03(5253)1111

第116回歯科医師国家試験の合格発表について

令和5年1月28日(土)及び29日(日)に東京都他7カ所において実施した第116回歯科医師国家試験の合格者を発表しました。今回の歯科医師国家試験の合格者数等は次のとおりです。

記

	(出願者数)	(受験者数)	(合格者数)	(合格率)
新卒者	2,383人	1,919人	1,483人	77.3%
全体	3,669人	3,157人	2,006人	63.5%

第116回歯科医師国家試験の合格基準

第116回歯科医師国家試験の合格基準は、

一般問題（必修問題を含む）を1問1点、臨床実地問題を1問3点とし、

- ① 領域A（総論） 63点以上／96点
- ② 領域B（各論） 257点以上／373点
- ③ 必修問題 64点以上／80点

但し、必修問題の一部を採点から除外された受験者にあつては、
必修問題の得点について総点数の80%以上とする。

とする。

第116回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 A 第 20 問

20 切削・研削工具の材質で硬さが最も小さいのはどれか。1つ選べ。

- a アルミナ
- b スチール
- c ダイヤモンド
- d カーボランダム
- e タングステンカーバイド

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第116回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 A 第 35 問

35 上顎洞底挙上術に用いる骨移植材料で、挙上した高さが維持できるのはどれか。

2つ選べ。

- a 自家骨
- b β -TCP
- c ウシ脱灰焼成骨
- d ハイドロキシアパタイト
- e リン酸オクタカルシウム

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理 由)

設問の状況設定が不十分で正解が得られないため。

第116回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 A第 53 問

53 悪性腫瘍に対する緩和照射で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 痛みを軽減する。
- b 治癒を目的とする。
- c 易出血性を改善する。
- d 化学療法を併用する。
- e 標準治療と同じ総線量を要する。

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理 由)

選択肢が不明確で正解が得られないため。

第116回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 A 第 56 問

56 象牙質切削面のリン酸処理前後の走査電子顕微鏡像(別冊No. 15)を別に示す。

酸処理後に水洗、乾燥させた。

この処理で得られる効果はどれか。2つ選べ。

- a 汚染層の除去
- b ぬれ性の向上
- c 知覚過敏の抑制
- d レジンタグの形成
- e 管間象牙質へのモノマー浸透性向上

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理 由)

設問文が不明瞭であるため。

第116回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 A 第 69 問

69 37歳の男性。食事の際の歯肉の痛みを主訴として来院した。5年前から下顎右側第一大臼歯と第二大臼歯の歯間部の食片圧入を自覚していたがそのままにしていたという。検査の結果、慢性歯周炎と診断し歯周基本治療を行うこととした。初診時の口腔内写真(別冊No. 24A)とエックス線画像(別冊No. 24B)を別に示す。歯周組織検査結果の一部を表に示す。

舌側*	3	4	④	④	2	3	3	3	3
歯種	7			6			5		
頬側*	2	3	⑤	⑤	4	4	3	3	3
歯の動揺度**	0			1			1		

* :プロービング深さ(mm)

○印:プロービング時の出血

** : Miller の判定基準

まず行うのはどれか。3つ選べ。

- a 咬合調整
- b 歯冠形態修正
- c プラークコントロール
- d 局所薬物配送システム(LDDS)
- e スケーリング・ルートプレーニング

(採点上の取扱い)

採点対象から除外する。

(理 由)

設問の状況設定が不十分で正解が得られないため。

第116回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 B第 50 問

50 可撤性ブリッジに用いるのはどれか。2つ選べ。

- a 根面板
- b キーアンドキーウェイ
- c 歯冠外アタッチメント
- d テレスコープクラウン
- e プロキシマルハーフクラウン

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理 由)

選択肢において正解を得ることが困難なため。

第116回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 C 第 9 問

9 ステージとグレードによる歯周病の分類でステージの基準になるのはどれか。

1つ選べ。

- a 喫煙
- b 糖尿病
- c 歯の喪失
- d 骨吸収の経年変化
- e バイオフィルムの蓄積

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第116回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 C 第 15 問

15 唾石に接する導管で見られる変化はどれか。1つ選べ。

- a 軟骨化生
- b 粘液化生
- c 扁平上皮化生
- d アポクリン化生
- e オンコサイト化生

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第116回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 C 第 16 問

16 治療によって機能の改善が期待できるのはどれか。1つ選べ。

- a 血管性認知症
- b 正常圧水頭症
- c 進行性核上性麻痺
- d Lewy 小体型認知症
- e 筋萎縮性側索硬化症

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第116回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 C 第 78 問

78 身体障害者手帳の交付対象として身体障害者福祉法に規定されているのはどれか。すべて選べ。

- a 視覚障害
- b 聴覚障害
- c 平衡機能障害
- d 言語機能障害
- e そしやく機能障害

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。

(別 紙)

第116回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 D第 17 問

17 ヒトの頭部と身長之比が1 : 4なのはどれか。1つ選べ。

- a 0歳
- b 2歳
- c 6歳
- d 12歳
- e 25歳

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第116回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 D第 18 問

18 妊婦が過剰摂取すると催奇形性があるのはどれか。1つ選べ。

- a ビタミン A
- b ビタミン C
- c ビタミン D
- d ビタミン E
- e ビタミン K

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第116回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 D第 35 問

35 歯肉の違和感を訴え来院した患者の口腔内写真(別冊No. 6A)、エックス線画像(別冊No. 6B)及びある薬液を用いた反応後の口腔内写真(別冊No. 6C)を別に示す。

まず行うのはどれか。2つ選べ。

- a 切開排膿
- b 感染根管治療
- c 抗菌薬の投与
- d 口腔清掃指導
- e スケーリング・ルートプレーニング

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理 由)

設問の状況設定が不十分で正解が得られないため。

第116回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 D第 38 問

38 抜歯創の治癒過程を順に並べよ。

解答：① → ② → ③ → ④ → ⑤

- a 骨改造
- b 仮骨形成
- c 血管新生
- d 血餅形成
- e 肉芽増生

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理 由)

選択肢において正解を得ることが困難なため。

第116回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 D第 48 問

- 48 口腔癌治療におけるニボルマブの作用機序はどれか。1つ選べ。
- a 増殖因子受容体の阻害
 - b 癌細胞の DNA 合成阻害
 - c ヘルパー T 細胞の活性化
 - d 細胞傷害性 T 細胞の活性化
 - e 形質細胞による抗体産生亢進

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理 由)

選択肢が不適切であるため。

歯科医師国家試験 合格者数等の推移

回数	施行年月日	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
第107回	平成26年2月1～2日	3,200 (2,241)	2,025 (1,642)	63.3 (73.3)
第108回	平成27年1月31日～2月1日	3,138 (1,995)	2,003 (1,457)	63.8 (73.0)
第109回	平成28年1月30～31日	3,103 (1,969)	1,973 (1,436)	63.6 (72.9)
第110回	平成29年2月4～5日	3,049 (1,855)	1,983 (1,426)	65.0 (76.9)
第111回	平成30年2月3～4日	3,159 (1,932)	2,039 (1,505)	64.5 (77.9)
第112回	平成31年2月2～3日	3,232 (2,000)	2,059 (1,587)	63.7 (79.4)
第113回	令和2年2月1～2日	3,211 (1,995)	2,107 (1,583)	65.6 (79.3)
第114回	令和3年1月30～31日	3,284 (2,103)	2,123 (1,687)	64.6 (80.2)
第115回	令和4年1月29～30日	3,198 (1,999)	1,969 (1,542)	61.6 (77.1)
第116回	令和5年1月28～29日	3,157 (1,919)	2,006 (1,483)	63.5 (77.3)

※()内は新卒者を示す

歯科医師国家試験 男女別合格者等の推移

回数	総数	男女別		男女別合格率(%)	
		男性	女性	男性	女性
第112回 (平成31年)	受験者数(人)	1,971	1,261	60.0	69.5
	男女比(%)	(61.0)	(39.0)		
	合格者数(人)	1,183	876	62.3	70.7
	男女比(%)	(57.5)	(42.5)		
第113回 (令和2年)	受験者数(人)	1,949	1,262	61.1	69.7
	男女比(%)	(60.7)	(39.3)		
	合格者数(人)	1,215	892	57.4	67.4
	男女比(%)	(57.7)	(42.3)		
第114回 (令和3年)	受験者数(人)	1,928	1,356	59.2	69.5
	男女比(%)	(58.7)	(41.3)		
	合格者数(人)	1,178	945	57.4	67.4
	男女比(%)	(55.5)	(44.5)		
第115回 (令和4年)	受験者数(人)	1,856	1,342	59.2	69.5
	男女比(%)	(58.0)	(42.0)		
	合格者数(人)	1,065	904	59.2	69.5
	男女比(%)	(54.1)	(45.9)		
第116回 (令和5年)	受験者数(人)	1,829	1,328	59.2	69.5
	男女比(%)	(57.9)	(42.1)		
	合格者数(人)	1,083	923	59.2	69.5
	男女比(%)	(54.0)	(46.0)		

第116回歯科医師国家試験 卒業年次別受験者数・合格者数・合格率

卒業年次	受験可能回数	受験者数(人)	構成比(%)	合格者数(人)	合格率(%)
新卒					
令和4年4月～ 令和5年3月	1回	1,919	60.8	1,483	77.3
令和3年4月～ 令和4年3月	2回	520	16.5	332	63.8
令和2年4月～ 令和3年3月	3回	217	6.9	89	41.0
平成31年4月～ 令和2年3月	4回	137	4.3	53	38.7
平成30年4月～ 平成31年3月	5回	82	2.6	25	30.5
平成29年4月～ 平成30年3月	6回	65	2.1	4	6.2
平成28年4月～ 平成29年3月	7回	67	2.1	11	16.4
平成27年4月～ 平成28年3月	8回	47	1.5	4	8.5
平成26年4月～ 平成27年3月	9回	20	0.6	2	10.0
平成26年3月 以前	10回以上	83	2.6	3	3.6
計		1,238	39.2	523	42.2
総計		3,157	100	2,006	63.5